

## IBM FlashSystem は、ストレージ環境の近代化やデータ回復力の向上のほか、コストのかかる容量拡張の回避を実現

IBM FlashSystem は、IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアとともに構築され、企業が異なるストレージ環境と増大するデータ容量要件をより少ない労力で管理できるようにします。

IBM は、さまざまな企業が FlashSystem の導入で実現し得る投資対効果 (ROI) についての Total Economic Impact™ (TEI) 調査を Forrester Consulting に委託しました。本調査の目的は、FlashSystem が読者の組織に与える潜在的な財務的影響を評価するためのフレームワークを提供することです。

Forrester は、この投資の利益、コスト、およびリスクについてさらに理解を深めるため、FlashSystem の使用体験がある顧客 5 社の意思決定者にインタビューを実施しました。Forrester は、インタビュー回答者の体験を集計し、財務分析のベースラインとなる結果を、1つのモデル組織の回答としてまとめました。

FlashSystem を使用する前、インタビュー対象組織は、コストのかかる容量拡張や、複雑な環境の管理がストレージ管理者に負担をかけていたという問題に悩まされていました。仮想化機能が限られていたり、存在しなかったりするため、計画的または非計画的なダウンタイムが発生し、重要なビジネス機能に影響を及ぼしていました。

### 投資の推進要素

インタビューを実施した組織に共通してみられた課題には、以下のようなものがあります。

- レガシーストレージがバラバラで、管理に過大な労力を必要とする。インタビュー回答者は、FlashSystem を使う前は、環境を管理するために複数の FTE を必要としていたと述べています。データニーズの高まりは、コストのかかる



投資利益率 (ROI)  
**305%**



正味現在価値 (NPV)  
**1 億 7900 万円**

容量拡張を意味し、管理に多くの FTE を必要とし、データセンターのコストが増加するとしています。

- 計画的、非計画的なダウンタイムが業務に影響を与える。多くの企業は標準的な営業時間内に定期的なメンテナンスや重要な更新を行わないため、常に作業可能なオフラインにする必要のない、信頼性の高いストレージソリューションが求められているとインタビュー回答者は述べています。製薬業界のグローバルヘッド・ストレージエンジニアは、次のように語っています。「グローバル企業では、常時稼働しており、ダウンタイムを組むのが難しいため、計画的ダウンタイムを必要としないシステムには多大な価値があります。地域のデータセンターもあれば、グローバルなデータセンターもあります。つまり、現在あなたがいる場所が夜だからといって、5万人の人が使っていないとは限りません。」



レポート全編を読む (英語)

「FlashSystemによって、業務効率と使いやすさが向上しました。当社がエコシステムに組み込んでいる他のストレージシステムと比較して、管理のしやすさとパフォーマンスはトップクラスです」

金融サービス部門、テクノロジー・インフラストラクチャー・オペレーション責任者

## 主な成果

FlashSystemを導入したことで、インタビュー対象組織はストレージ容量を追加購入する必要がなくなり、環境管理の労力が軽減されたほか、ダウンタイムも削減されました。

**ストレージコストを9700万円削減。** インタビュー回答者によると、FlashSystemは運用環境のパフォーマンスに影響をほとんど、または全く与えずにデータを圧縮するとしています。したがって容量を追加購入する必要がなくなり、データセンターのコストも軽減できます。

- 製造業のインフラストラクチャー・アーキテクトは、FlashSystemによってストレージコストが軽減されたと述べています。さらに次のように述べています。「当社はデータ圧縮を頻繁に行っており、約3:1の圧縮率を得られたので、コスト面で非常に大きな節約になりました。より多くのデータを保存できるようになり、圧縮を使用していなかったときと比べて、拡張する必要がそれほどなくなりました。圧縮機能がなかったら、ストレージ容量の拡大に膨大なコストがかかっていたはずです。」
- 製薬業界のグローバルヘッド・ストレージエンジニアは、次のように述べています。「FlashSystemは、データセンター内のスペース、熱、そして電力を節約します。回転ディス

ク技術からフラッシュに移行したところ、消費電力は10分の1、熱量も10分の1になりました。」

**約8000万円相当の業務効率の向上。** インタビュー回答者によると、FlashSystemはストレージ環境の管理に必要な労力を大幅に削減し、FTEの時間の90%以上を他の付加価値の高い業務に充てることができたと述べています。

- 某製造業のインフラストラクチャー・アーキテクトは、Forresterにこのように述べています。「FlashSystem環境は非常に安定しています。管理や拡張作業がそれほど必要としないので、他の仕事にもっと時間を回すことができます。サポートする従業員は私一人です。ストレージの知識がない人でも簡単に管理できるウェブインターフェイスは気に入っています。」
- 某製薬業界のグローバルヘッド・ストレージエンジニアは、次のように述べています。「FlashSystemは簡単に使えるので、日々の運用をサードパーティに任せることができます。シンプルなので、運用するのに高い技能を持つ人材を必要としません。アウトソーシングできるのです。通常の業務は、スキルがそれほどなくても、何も壊すことなく管理してもらえます。その点ではより効率的ですね。常にチューニングする必要はありません。熟練した人材は必要ないのです。」

「IBMは最高の製品を最高の価格で提供しています」

ヘルスケア部門、リードシステムエンジニア

### 約 6100 万円相当のダウンタイムを削減。

FlashSystem の信頼性に加え、ハードウェアをオフラインにすることなくストレージ環境のアップデート、パッチ、メンテナンス、その他の作業を可能にする機能は、組織が余儀なくされる計画的および非計画的なダウンタイムの削減に役立ちます。

- 某医療業界のリードシステムエンジニアは、次のように述べています。「IBM Storage Insights は、ドライブとコントローラーに何か問題が発生すると知らせてくれるので、ダウンタイムを削減できます。つまり場当たりのな処理ではなく、事前対処できるのです。」

FlashSystem のおかげで、問題が発生しそうなところから、簡単かつ透過的に機器を移動させることができたので、システムの停止を回避することができました。」

- 某製造業のインフラストラクチャー・アーキテクトは次のように語っています。「フラッシュ環境では、このプラットフォームを導入してからの 6 年間、フラッシュドライブの故障は一度もありませんでした。高く評価します。」

**FlashSystem は、IBM の信頼性、スケーラビリティ、セキュリティに対する高い評価をまさに反映しています。FlashSystem を導入して得られた結果に非常に満足しています**

**- 製造業、インフラストラクチャー・アーキテクト**

# FlashSystem を導入して以来、サービスシステムのダウンタイムは一度も発生していません

- 金融サービス部門、テクノロジー・インフラストラクチャー・オペレーション責任者

## 開示事項

以下の点に注意してください。

- 本調査は IBM の依頼により、Forrester Consulting が実施しました。本文書は、競合分析を意図するものではありません。
- Forrester は、他の組織が受ける潜在的な ROI については、一切想定を行っていません。IBM FlashSystem へ投資する際の妥当性を判断するには、本調査報告で提供されているフレームワークに、ご自身の予測を適用することを強く推奨します。
- IBM は本調査の報告内容を確認した後、Forrester にフィードバックを提供しました。ただし、本調査の内容と結果の編集権限は Forrester が有しており、Forrester の見解と矛盾する変更や、調査の意味を曖昧にする変更は認められていません。
- IBM はインタビューの対象となる顧客名を提供しましたが、調査そのものには参加していません。

## TEI について

Total Economic Impact™ (TEI、総経済効果) は、Forrester Research が開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値を顧客に提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要な利害関係者に対して、IT イニシアチブの具体的な価値を説明し、根拠を示し、実現に役立てることができます。TEI 手法は、投資価値を評価する「利益、コスト、リスク、柔軟性」の 4 要素で構成されています。

© Forrester Research, Inc. 無断複写・複製・転載を禁ず。Forrester は Forrester Research, Inc. の登録商標です。

FORRESTER®